

「学校評価アンケート」ありがとうございました

校長 栗原 康裕

11月末に実施した学校評価アンケートへの御協力ありがとうございました。分かりにくい設問があったかもしれませんが、それぞれ御丁寧に評価していただきました。その数値結果は先月お知らせしましたが、今回は自由記述欄に頂戴した御意見を以下、御紹介いたします。さて、アンケート回収率は児童数配布にもかかわらず、88%と高いものでした。この数字も学校に対する皆様の思いと受け止め、より一層開かれた学校を目指してまいります。※原文のままではなく、一部改変したり、同様な御意見を集約したりしています。

【学校全体の雰囲気について】

- ・南台小学校の教育にはとても満足している。特に学年関係なく交流できるにじいる班はとても良い。
- ・生徒一人一人に合った教育活動をしてもらいたい。南台小に行って良かったと思える教育活動を行って欲しい。
- ・集団としての大切さ、個人として落ち着ける環境の設定、今後学校に求められるのは多様化していくように思える。
- ・毎日とても楽しく学校に通えている。
- ・学校に行きたくないと言った事は一度もなく、学校を休みたいと話す我が子を見て、学校生活が楽しく安心していることを感じる。
- ・土地柄なのかもしれないが、声を出して挨拶をしない子が多い気がする。旗振りの母親たちに大きな声で元気に挨拶をしてくれると嬉しい。
- ・年々、課外活動が減っているように感じている。
- ・6年にとっては移動教室が2学期となったので、運動会が秋になると大忙しである。いろいろなことを急いで変更するのではなく、もう少しゆったりと計画を立てて変えていくと良い。落ち着いた環境の南台小に戻って欲しい。
- ・他校より教育活動が少ないと思う理由があるのか。(国会議事堂見学、八ヶ岳高原、卒業アルバム将来の夢フォトなど)

○多くの方々から好意的な御意見を頂戴しました。しかし、これらに慢心することなく、「落ち着いた環境の南台小」とあるように、挨拶など課題を十分に見極めながら「かよって良かった南台小」「かよわせて良かった南台小」となるようにより一層努めていきます。
○教育活動すべてが国の規準である学習指導要領に則っています。それを基に行事なども計画し、教育課程として編成しています。公立学校たる所以です。しかし、特色ある教育活動など、各校が実態を鑑みながら独自性を生かした活動をしているために、学校間の差異と捉えられてしまっているのは事実です。そこで、他校にはない南台小ならではのよさをもっとアピールしていくようにしていきます。

【学習指導について】

- ・子供たちがそれぞれの個性に合わせた授業内容や時間が提供されると良い。
- ・授業では子供たちみんなの意見を聞き尊重しながら自分の考えも伝えるのが自然にできているので、意見を発言しやすいと感じた。
- ・班毎に朗読発表する機会の際、班のメンバーで配役や範囲を決めて練習したところ、全員で一斉に声を合わせての発表で子供たちががっかりしたことがあったそうである。差異が目立たないようにと、様々な場面で少し過剰配慮し過ぎであると思う。
- ・遊びのときと真面目にやるときのメリハリをしっかりとつけて、きちんと落ち着いて授業を受けられるようになって欲しい。
- ・情報番組で「くねくね体操」が紹介され、導入した学校では子供たちの運動能力が上がったという放送を視聴した。東京都では2013年度から導入しているとのことだが、南台小での予定はないのか。
- ・九九については良く覚えられよう、先生たちの工夫に感謝しているが、漢字についてはもう少し繰り返し学べる仕組みがあると良い。
- ・計算や漢字など基礎基本は細かいところまで丁寧にみていただいていると感じる。
- ・食事のマナーや箸の持ち方、配膳の仕方(茶碗やお碗の位置)なども少し気にしてみたい。
- ・安全マップの発表やクラスでのスピーチなど人前で発表する機会がとても良い。子供の自信にも繋がっている。
- ・少人数学習はコースによって人数に幅がある。一クラス分の人数がいたコースでは、その中でもレベル差があり、そのサポートはできているのか。結局、普通の算数の授業状態と変わらないと思う。
- ・算数は少人数で授業を受けていて理解できるようになっていると良い。国語、理科や社会でも学期に1回でも少人数で底上げをして欲しい。学習の理解度、習熟度に差があり、授業についていけなくなったら塾など外部の教育に頼るしかない。
- ・算数少人数指導は学力向上に効果的とは思えない。授業中理解できず分からないのに質問できる機会がなかったり、どのように質問していいのかわからない時もあるようで、少人数のメリットがあまり感じられない。理解できない児童が質問しやすい環境になればと思う。
- ・宿題の内容、量がかなり減っている。クラスによって学力の差が出るのではないかと不安に思うことがある。
- ・担任が課している家庭学習はこれから先とても役立つ宿題で大切だと思う。せっかくなので、テストで間違えた問題を転記、復習させればもっと学力が向上すると思う。
- ・夏休みの宿題の中に、作文コンクールや標語等、コンクールに応募する項目を作ったら校外でも評価される自信に繋がる子供も出てくると考える。
- ・毎日わくわくしながら登校している。英語が楽しいと言っている。
- ・社会科として、市のことを知るきっかけが与えられ、自分の住んでいる場所により一層興味をもつようになり、誇らしく思うようになり、誇らしく思うようになっている。社会集団の中における個としての自己を認識していくのだと思う。子供はよくニュースを見るようになり、金融など難しい問題に疑問を発するようになった。感謝の気持ちでいっぱいである。
- ・ごみについての学習では秋水園(ごみ処理施設)の見学を通じ、これまで関心をもっていなかった問題に目を向けるようになった。
- ・水泳の検定で不合格だった場合は具体的に何が悪かったのかを伝えて欲しい。普段どう泳ぐか指導、注意もされないのに、検定だけ厳しいのではなかなか進級できず、モチベーションは下がる。キーポイントだけは教えていただきたい。
- ・我が子はスイミングスクールには通っていないが、今でも泳ぐことができない。自分の経験では学校で泳ぎ方を教わったのに、なぜここまで泳げないのか疑問である。それなのに「級」をつけるのはスイミングスクールで教わなければ進級できないと思う。
- ・体育着に肌着を脱ぐという指導は必要ない。夏に汗をかくのが駄目なのであれば肌着の替えを持たせれば良い。
- ・中学生になると勉強の仕方が変わるので不安である。親としてもどのように学習させたら良いのか悩んでいるので、学習スタイルを教えてください。

○繰り返しになりますが、学習指導、教科指導も国の規準である学習指導要領に則っています。今後も基礎・基本的事項をどの子にも確実に定着させたいので、発展的な学習をより一層進めていきます。なお、3年生以上対象の算数少数指導は都教育委員会が「東京方式」として都内全校で実施しているものです。このため定員より一人多い教員を配置してもらっています。

○家庭学習において補っていただくことも少なくありません。宿題の量については、各学年、学級の実態に配慮しながら家庭学習を推進していきます。また、休業中の家庭学習の在り方についても今後検討していきます。

○授業中の態度なども含めた学習のルールについては「南台小スタンダード」として、全校で指導していますが、徹底していない学級もあったようです。水泳指導の在り方にもご意見がありました。改めて全教職員で確認、徹底していきます。

【御家庭との連携について】

- ・3学期制に戻ったことで長期休業前にあゆみで評価が分かり、課題が見えて勉強しやすくなったように思う。
- ・子供は学校で過ごす時間が多いので、見守ってもらい、異変があった際には知らせてもらえると安心だと感じている。
- ・連絡帳は子供が読めてしまうので、電話で話した内容等は見えないようにして頂ければ助かる。
- ・学校公開以外の手伝い(保護者ボランティア)の募集については、もう少し早くに知らせて欲しい。
- ・授業はいつでも見学可能ということだが、一人では勇気が要る。保護者会前の5時間目に授業参観にするなど普段の様子を見る機会を増やして欲しい。
- ・授業参観のときに普段どおりの授業だとどのように教えているか分かり、子供から質問があったときに先生と同じように説明できる。
- ・学校公開日(授業)を1回だけでなく、2,3回に増やしてほしい。
- ・「いつでも気軽にご相談ください。」という言葉と、学校から先生から「～です。」という連絡をもらうことがとても有難い。子供のことを一番に考えていると先生と接し感じた。
- ・学校だよりに以前載っていた「がんばったで賞」が無くなってしまったのがとても残念である。同じ学校の友達が日々一生懸命頑張っている成果を知ると嬉しい気持ちになる。
- ・学年だよりや学級だより、自然な普段の様子を写真で載せたり、子供たちの目標や授業のことを一言ずつコメントとして伝えるのもよい。
- ・学年だより、スポーツや美術などで頑張っている子供たちの成果のお知らせがあると良い。かつて学年だよりにあった「がんばったで賞」の記載がなくなったのは残念である。何らかの形で保護者にも知る機会があると嬉しい。
- ・ティーボール大会など積極的に参加する子供たちはどんどん伸びていくと思う。親から声をかけてみようと思うが内容など分からないので、「今クラスで〇〇の語が出ています。」など、学年だよりなどでお知らせがあったら嬉しい。
- ・インフルエンザのときの登校届を自宅でプリントできるようにしたのは便利である。但し、届の存在や手続きを知らない保護者も多いので、入学時の説明会などで知らせるとより親切である。
- ・ホームページの年間予定は実物をアップしてもらえると日付も分かり、もっと便利である。
- ・保護者会など、下校する時間と保護者が来校する時間の設定は余裕のあることが望ましい。さらに実施時間ももっとコンパクトにし、長くないように希望する。保護者が多数学校に集まっている時間帯は地域では見守る目が不足しているということである。
- ・4時間給食なしはお昼が13時過ぎになってしまうので、3時間が良い。
- ・今年は9月の保護者会が無かったので夏休み自由研究の作品が見られず、残念だった。せめて個人面談の終わる10月末まで展示してあると良い。
- ・登校時間の変更や運動会の昼食のとり方等変更があり、それに対応するため保護者の間では試行錯誤していると話をしている。特に登校時間の変更は年度途中で大変だった、保護者からアンケートや意見を聴取すると聞いていたが今のところはない。

○御家庭や地域との連携を大切にしながらより一層開かれた学校づくりを進めます。したがって、いつでも学校公開、授業公開が原則です。御遠慮なくいつでも学校にお越しください。

○学校からの配布物については、子供たちの様子が伝わるように内容の充実を図るようにしていきます。

○保護者会の日程については、学校行事等と同様にさまざまな事情を勘案して決定しています。今年度から東村山市は3学期制となったために、昨年度との違いから一部御迷惑をかけた部分がありました。可能な限り御意見に沿うように、来年度の日程を計画していきます。

○「過ちては改むるに憚ること勿れ」という言葉がありますが、誤りや間違いについては直ちに改めるようにしています。登校時間の変更については安全管理上、一刻の猶予も許されない問題でした。もっと早くから是正すべきだったと反省しています。

【特色ある教育活動について】

- ・南台小の素晴らしさの一つは縦割り活動である。その経験は卒業してからも役立つ。下の子に対する優しさ、上の子に対する尊敬と、大切な気持ちが育っている。今後もずっと続くことを願っている。
- ・にじいろ班活動を通して異学年とのかかわりをもてることはとても素晴らしい。しかし、1組、2組の交流はあるのか。校外で会っても隣の組だから知らないと言って声もかけずに終わっている。
- ・入学直後から6年生が1年生の世話をしたり、にじいろ班で他学年と交流があったりするのはとても良い。放課後も公園などで一緒に遊んでいる。
- ・学校公開や図工の学習など、多様なゲストを生かした教育活動が面白く、子供たちに良い刺激となっている。有意義だった。
- ・さまざまなグループ活動を通して、自分の役割をもち責任感が育まれているように感じる。
- ・土曜日に登校する児童の負担を減らすために今年度試みられている体験型の授業はとても良い。地域の特色やよさを気付かせる取組を続けて欲しい。
- ・グローバル社会にも対応していける子供たちに育てるため、異文化交流などの機会があると良い経験になる。

○今年度「かかわりあい」をキーワードとして、これまで南台小の伝統として培ってきたにじいろ班(縦割り班)活動をさらに拡大、発展させました。また、授業においては多様な人材をゲストティーチャートして招いて、本物の文化に触れる機会を多く設定してきました。

○世界ともだちプロジェクトとして、東京2020大会参加予定国の中から5つの国を取り上げ、様々な人種や言語、文化、歴史などを学び、世界の多様性を知るとともに、様々な価値観を尊重することの重要性を理解させる取組を行っています。

【教職員について】

- ・いつも子供たちの為に一生懸命な先生方の姿に有難いと思っている。
- ・どの行事についても、担当の先生が中心となり他の先生方も遅くまで残り、準備をしていた。疲れが残らないようにと思うと同時に、子供たちもその姿を通して、協力して成し遂げていくことを学んでもらえたらと思った。
- ・南台小はとても明るく元気の良い先生が多いように思う。先生方の笑顔が子供たちに伝わり、子供たちの笑顔も素敵だと思う。
- ・校長、副校長が共に新しく変わったので、どんどん新しいことに取り組んでいただきたい。期待する。
- ・学年の先生がしっかり連携しているので、安心していい。お互いの授業を見たり必要な情報を共有していることが授業参観や子供の話からも感じる。
- ・副校長が替わり、その頃主幹教諭も休み学校運営を心配していた。来年度、現副校長が継続なのか気になっている。
- ・朝、ときどき正門付近まで行くが、校長が門の内側にいて、挨拶ができない。顔は見えるけど挨拶するには微妙に遠いので、もっと前に出で欲しい。
- ・何か困ったことがあったとき、担任や校長、副校長が一丸となって対応してくれる姿勢がとても有難く、安心して子供を任せられる。
- ・担任には相談を良く聞いてもらい助かっている。
- ・子供に関する悩み相談には大変親身になってもらった。引き続きお力添えをいただければ心強い。
- ・子供の書き込みに対して、担任から必ずコメントをもらい、いつも楽しみににこにここと笑顔で読んでいる。大勢の中の一人ではなく、自分と繋がっているそのコメントが心の拠り所になっているように思う。
- ・いつも子供たちに適切に、そして適度に厳しく指導していただき有難い。
- ・個別指導が必要な子供に沢山の教職員が関わり、とても感謝している。
- ・担任は休み時間に子供たちと一緒に外遊びをしていて有難い。我が子のクラスは外遊び好き集団なのでラッキーである。
- ・登校時、正門に先生が立っている姿を他校で見た。挨拶をする姿が子供の見本になって良いと感じた。
- ・いじめに関して学校が見つけているというのはよく分からないが、何かあったときには話をよく聞いてもらえる。
- ・担任の発言に感想や感情が入っていることがあり、気分を害した。学校と保護者は立場が異なり、どちらが上下は決していないが、対話をする際は特に話し方を気を遣うようにしてもらいたい。親しき仲にも礼儀ありを皆意識できると素晴らしいと思う。
- ・担任の板書はとても綺麗で、どんなに小さい数字も教室の後ろからでもはっきりと見える。経験の少ない先生の板書は見にくいので改善して欲しい。
- ・担任の道徳の授業を経験の少ない先生方に見せて欲しい。教師の問かけに黙り込み、発言する子は限られ、主旨が違う方向に話し合いが進んだのにそのまま終わってしまうような指導のレベルの先生が来年度以降道徳の評価を出すようになるのは困る。

○若手教員に対する指導や支援、授業研究をはじめとした校内研修など、人材育成に関しては一定の体制をとっています。御指摘の授業見学については、若手教員が属する学年の授業に講師を充て、週1回は実施できるようになっています。今後もさらなる体制づくりを考えていきます。また、服務規律遵守や人権尊重教育に関わる研修を年3回実施しています。そのなかに接遇に関する内容もあるので、職務に十分に反映させ、特に言葉遣いには十分に注意を払うようにしていきます。

○いじめ防止については、「東村山市立南台小学校 いじめ防止基本方針」を策定し、いじめ対策委員会の開催、年3回の児童へのいじめアンケート、5年生児童全員を対象としたスクールカウンセラーとの面接等、全校体制で組織的に対応しています。

【学校行事について】

- ・校長が替わると行事等も変わっている。保護者の意見を取り入れて変えるのは良いが、伝統は引き継いで欲しいと強く願う。南台小の活動がとても素晴らしいと思って子供たちをさせているので、南台小のよさをなくすことだけは無いように願いたい。
- ・展覧会では子供たちの作品が沢山展示されていて、日頃の子供たちの学校での様子が想像でき、とても良かった。今後も是非続けて欲しい。
- ・作品展、音楽会もとても素敵だった。
- ・図工専科が変わり、新鮮で楽しい作品展だった。入口から飾り付けがあり、BGMが流れていて、学校全体が一つの作品のようで素敵だった。校庭を利用したワークショップは3階教室等高い所から全体を見てみたかった。
- ・展覧会のキッズ学芸員がとても良かった。下級生から話を聞いて自分でまとめて下級生の作品の紹介をするという行程が良い経験になり、自信に繋がってとても良かった。
- ・来年度は運動会が秋になるとのことだが、高学年「みかぐら」は収穫の踊りなので、秋の運動会で見られるのが楽しみである。
- ・近隣にマンションができるので、児童数が増えて以前のような6年生だけの「みかぐら」や「組体操」ができれば良い。
- ・運動会は春秋どちらも暑く、主役の子供たちが暑そうだったのでテントを設置していただきたい。
- ・来年度運動会の実施月を変更する予定らしいが、仕事やきょうだいの学校行事との重なりなど、都合を付けて年間スケジュールを組んでいる。コロナと変更するのはいかがなものか、子供たち、先生方の負担を考えて欲しい。
- ・運動会は春開催で良かった。6年生は受験を予定し、秋に移動教室、運動会では学業が疎かになる。昼食は教室で食べるのが良いと思う。
- ・騎馬戦の廃止について、安全面の考慮かもしれないが過剰に反応し過ぎではないかと残念である。
- ・移動教室はとても充実した貴重な体験となった。クラスの仲間意識、協力する心をもてたので秋だと卒業まで短く、もったいない。春または初夏に行っていたらもっと違う夏休み、2学期を過ごせたと思う。
- ・来年度の音楽会について、近隣校のように業者によるビデオ撮影で安価で販売してもらえると集中して鑑賞できる。
- ・学校行事の内容や実施する季節の変更が多くて困惑している。秋から年度末に知らせを受けることが多いが、学校行事は大体この時期と考えて長期の予定を立てている。変更する際は保護者、少なくともPTA役員に意見を聴くなどの配慮が欲しい。
- ・遠足(山登り)があると良い。行事が多いなか難しいかもしれないが山登りの機会がなく、自然の中に行くことやグループの団結が強まることなど、良い機会となる。
- ・夏休みの日程が周りの学校とずれていて、スポ少や家族の予定を組みづらかった。日程を合わせて欲しい。半日授業は夏休み明けが良い。
- ・夏休みが短い。夏休みが遅く始まるより、2学期が早く始まる方が良い。

○学校行事を含め教育活動の実施時期については、児童の実態を最優先としながらも、市や地域の各種行事予定、一中や保育園等近隣校(園)との調整、校外学習等では活動場所の手配確保等を考慮して、前年度に総合的に判断して決定しています。昨年度と同様に、平成30年度の行事については今年度中、来月下旬までにはお知らせできるかと思えます。

【安全衛生・施設設備について】

- ・登校時間の変更により、朝遊べなくてつまらない、ガス抜きができないと不平不満の子供たちがいる。但し、毎年変更しては対応するのが大変なので今後は何も言わないが、我が子は遅くまで寝ていられると大喜びである。
- ・図書室が薄暗く、先生も居なくて本を読む、または逃げこめる場所としての機能を果たしていない。
- ・パン食が多く、魚が少ないように感じる。
- ・南台小に言葉の支援学級があると有難い。
- ・近隣の公園ではプレーボードが禁止され、道路で乗る子もいて注意することがある。保護者の自転車置場をプレーボードに開放してもらえると、安全・安心である。
- ・スクールカウンセラーは週1回しか来校されないため、子供が行けるタイミングがなかったり、行くこと自体恥ずかしいと思うため、行きたくても行けないことがある。子供が行きやすいように考えて欲しい。児童に日頃から「恥ずかしくない、相談内容は他言しないと約束してくれる。」など、伝えてもらえば安心できると思う。

○東村山市立学校においては、遊び場開放(個人開放)として校庭の遊具設置場所付近に限って開放しています。市報1月15日号にも学校施設の開放についての記事がありますので、御確認ください。

○学校図書館専任司書が配置されていますが、市の臨時職員のため在校していない日や時間帯があります。また、スクールカウンセラーは都から派遣されている非常勤職員であり、年間38日勤務と決められています。

○子供たちの心のケア等のため、教育相談室の機能とその在り方を検討していきます。

○毎月お配りしている給食献立表を御確認頂ければ幸いです。ちなみに1月は16回の給食がありましたが、そのうちパン食は4回、魚介類を食材としているのが8回でした。

○言語障害通級指導学級を含め特別支援学級の設置については、市が判断、決定していることを御理解ください。

【その他】

・図書館だよりのクイズが子供心をくすぐるようで、本に興味が無かった子が答えを調べるために図書館に本を借りに行くなど本に親しむことができている。

・全校朝会での話を良くしてくれる。ためになる話が有難い。

・アンケートには「学校は～」となっているが、学校ではなく担任のカラーだと思う。担任によって違っている。周りの大人によって子供は大きく成長できたり、個性を伸ばしたりすることが無限にあると思う。

・アンケートは無記名が良い。正直書きづらいし、ネガティブな意見は見えないかと思う。

○アンケートの記名についてはさまざまな御意見がありますが、自由記述欄の内容について、場合によっては個別に対応する必要もあると考え、フィードバックが可能となるように、お名前を書いていただきました。今回、実際にそのような事例が2件あり、お名前があったことで、対応することができました。

○このアンケートは保護者の御意見を頂戴する大切な機会です。御記名されたことにより、すべての御意見を責任ある真摯なものとして受け止めています。



保護者の皆様、アンケートの御協力、本当にありがとうございました。学校では現在、来年度に向けて、行事の実施時期を含め教育課程の計画立案の検討を始めています。先月お知らせしたアンケートの数値結果や、今回の自由記述欄の御意見を十分に反映させてまいりますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。